

科目名	書道Ⅱ			学年	類型・コース	単位数
				2年	自由選択1・普通	2単位
学習の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。					
教科書 副教材	主たる教材：書Ⅱ（光村図書）					
評 価	評価法	作品、発表、ノート、授業への取り組み（書道に対する関心・意欲、準備と片付けなど）で評価します。				
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	古典の学習や臨書を通して、字形、綿質、点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆、運筆の技法を理解している。		
		b	思考・判断・表現	古典の書風を的確に捉え、その美を甘受している。鑑賞を通して、書風を理解し臨書に生かしている。		
		c	主体的に学習に取り組む態度	古典、創作、表現することに関心を持ち、その美を味わおうとしている。点画や用筆の特徴について主体的に確認している。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	漢字の書 p. 10, 11 個性豊かな漢字の書	それぞれの書体や書風の特徴を捉え、古典の豊かな個性を味わう。	作品	作品 発表 ノート	ノート 取り組み 発表
	5月	8	篆書 p. 12～17 「泰山刻石」「石鼓文」「甲骨文」	篆書の古典を通して用筆や字形の特徴を捉え臨書する。			
	6月	8	隸書 p. 20～24 「乙瑛碑」「居延漢簡」「曹全碑」	隸書の成立、特徴を確認し、字形、線質、用筆を理解する。			
	7月	4	「石門頌」	各古典の徴を理解し、臨書する。			
夏休み							
2学期	9月	8	草書 p. 26～30 「十七帖」「書譜」 「自叙帖」（コラ）名品になった詫び状	草書の成立、特徴を確認し、字形、線質、用筆を理解する。	作品	作品 発表 ノート	ノート 取り組み 発表
	10月	8	行書 p. 32～39 「集王聖教序」「温泉銘」「祭姪文稿」	行書の成立、特徴を確認し、字形、線質、用筆を理解する。			
	11月	8	楷書 s p. 40～46 「薦季直表」「樂毅論」 篆刻・刻字：書道史 p. 90～95 ・多彩な印の表現 ・さまざまな書体で見る姓名印	・楷書の成立、特徴を確認し、字形、線質、用筆を理解する。 ・印の歴史を確認し、印の役割の変遷を理解する。 ・さまざまな印を鑑賞し、印象の違いを話しあう。			
	12月	4	創作する p. 48～52	古典の学習を通し、習得した知識・技能を生かし作品を作る。			
冬休み							
3学期	1月	6	仮名の書 p. 54～66 古典に学ぶ	身の回りの書に興味を持ち、繰り返し、細筆の用筆、運筆を習得する。	作品	作品 発表 ノート	ノート 取り組み 発表
	2月	6	創作する p. 68～72 漢字仮名交じりの書 p. 74～88	臨書、鑑賞、創作の学習を通して、自己の表現に生かすことを理解する。			
	3月	4	古典名筆に学ぶ	古典の学習を通し、作品を鑑賞し合い交流する。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）

書道Ⅰに続き、授業で作品を作り提出をします。学習や鑑賞を通して学んだことや感じたことを生かし、意欲的に取り組めるようにしましょう。